

佳作

いれから命を守る

鹿児島県 霧島市立国分南小学校四年 木場 真鈴

八月八日金曜日に記録的大雨がふりました。けい
かいレベルが一番高いレベル五が、わたしのすむ霧
島市、となりの始良市、熊本県の一部に出されました。わたしがいつも登校に使う道では、土砂くずれ
が起きました。山から木や岩、土が流れていました。
けが人は出なくてよかったですけど、通行止めになり、
いつもとはちがう道を通らなければならなくなりました。

ニュースを見ると、始良では土砂くずれで死
者が出ていました。家がこわれたり、隼人や始良市
では断水になったりしました。給水車が来て、たく
さんの人が水をもとめて行列になれば、飲
み水も生活の水もなくなってしまいました。断水は、
お風呂に入れないし、ごはんもたけないし、はみが
きもできないし、トイレも使えないのでとてもこま
ります。

近所では、車がこわれる人もいました。お父さん
の車は、エンジンをかけると変な音がしたけどど
どでした。店では、りん時休業をしている店がほと
んどでした。店に入った水やどろを必死に外に出して
いました。いつもは、きれいな店の中に土がたくさ
ん入っていて、見たことのない光景でした。

いつもは、きれいな海や川は、大きな木がまざり、
ちゃ色にこり、きたなくなつて波もあらくなり、
とてもあぶないと思いました。水の量がとても多く
なり、またあふれるのではないかと、心配で心配で
不安でした。川に六十代の夫婦が流されたと聞きま
した。人の命もうばうのでとてもおそろしいです。

何時間か停電になることもありました。真夏の八
月に、エアコンが使えないので、とても暑くたえら
れません。夜はくらくて周りが見えないし、テレビ
も見られないので、何をしていいのかこまりました。
やっと電気がついて、テレビをつけても楽しい番組
は一つもなく、ほとんどがニュースやひなんのよび
かけで不安がふえるばかりでした。

わたしは、これまでこんな大雨は体けんしたこと
がなかったので、とても不安でどうすればいいのか
分からなくなり、何度かパニックになりました。

わたしは、これからもこの大雨の事をわすれない

で、次の世代になつてもわすれないことが大切だ
と思いました。これからも自ぜんさいがいがおきる
かもしれません。このけいけんをいかして自分やた
くさんの命を守ろうと思いました。このけいけんを
ぜったいにわすれません。